



広島交響楽団 シン・ディスクバリー・シリーズ 被爆80周年〈ヒロシマとモーツァルト〉

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

The 80th anniversary of atomic bombing “Hiroshima & Mozart”



被爆80周年
《Piece of Peace》
平和のかけら

第1回

2025.4.25 金 18:45開演
(17:45開場)

JMSアステールプラザ 大ホール

Friday April 25, 2025 Start 18:45 [Open 17:45]

JMS Aster Plaza Hall

◆ 糀場富美子: 広島レクイエム

Tomiko Kohjiba: HIROSHIMA REQUIEM for String Orchestra

◆ モーツァルト: ピアノ協奏曲第20番ニ短調 K.466

Mozart: Piano Concerto No.20 in D minor K.466

◆ ジョン・アダムズ: 「ドクター・アトミック・シンフォニー」

John Adams: Doctor Atomic Symphony



©Makoto Nakagawa

ピアノ: 小林 愛実

Piano: Aimi Kobayashi

コンサートマスター: 北田 千尋 Concertmaster: Chihiro Kitada

指揮 (音楽監督):

クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming



■ チケット料金 (税込/全席指定)

S: ¥5,800 A: ¥4,800 B: ¥3,800 (学生: 1,500円)

学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■ チケット発売日/2025年2月25日(火)

■ チケット取扱い/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局

※ やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※ 就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※ 開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

■ 主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■ 共催/公益財団法人広島市文化財団

■ 協賛/中国電力、ひろぎんホールディングス、広島電鉄、マツダ

■ 後援/広島市、広島市教育委員会

■ お問い合わせ

広響事務局 082-532-3080

■ 公式ホームページ

<http://hirokyo.or.jp/>



広島交響楽団 シン・ディスカバリー・シリーズ

被爆80周年

〈ヒロシマとモーツァルト〉

私が音楽監督に就任して最初のシーズンは、母国オーストリアに関わりの深いモーツァルトとコルンゴルトを「ふたりのヴォルフガング」というタイトルでお贈りしました。そして2年目のシーズンを考えた時、まずモーツァルトはオーケストラの音創りでとても大切ですので、これは続けよう。そしてモーツァルトに対峙する作品は？としたところ、2025年は広島に原爆が投下されてから80年の節目ですので、「ヒロシマ」を題材、または関係する作品を紹介できないかと考えました。幸いそれらの作品の情報については楽団に蓄積されていたのですが、ペンデレツキのように過去何度も演奏された定番の作品や、近年作曲された藤倉や、コンポーザー・イン・レジデンスを務める細川作品の他、広響が初めて取り組む項目として、ジョン・アダムズと大木正夫をラインナップに取り入れました。2023年には映画「オッペンハイマー」が広島でも上演されたと聞きます。また2016年には当時米国のオバマ大統領が広島を訪れ、歓迎を持って受け入れられました。世界中の人たちが「広島」の寛容と慈愛に心を揺さぶられた瞬間でした。広島交響楽団はこれからも Music for Peace をモットーに音楽活動を続けていきます。皆様の温かい応援への感謝と原爆犠牲者への追悼を込めて、最後はモーツァルトのレクイエムで締めくくりたいと思います。

広島交響楽団 音楽監督
クリスティアン・アルミンク



指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor : Christian Arming



ピアノ
小林 愛実
Piano : Aimi Kobayashi

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍した。2017年から、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスプールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。

2021年10月「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。

1995年山口県宇部市出身。3歳からピアノを始め、7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。これまでに、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響、ポスカ指揮チューリヒ・トーンハレ管、ソヒエフ指揮ミュンヘン・フィルなど国内外における多数のオーケストラと共演。2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。サントリーホールで日本人最年少となる発売記念リサイタルを開催した。翌2011年にはセカンドアルバム「熱情」をリリース。2015年10月「第17回ショパン国際ピアノコンクール」ファイナリストとなった。2018年4月、ワーナー・クラシックスよりCD「ニュー・ステージ～リスト&ショパンを弾く」をリリース。同年8月には、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に出演し好評を得た。2021年8月 ワーナー・クラシックスよりCD「ショパン：前奏曲集 他」をリリース。2024年11月に最新CD「シューベルト：4つの即興曲 作品142、ピアノ・ソナタ第19番 ハ短調、ロンド イ長調（連弾）他」をリリース。

フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積んだ。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。

次回ディスカバリー・シリーズ

広島交響楽団 シン・ディスカバリー・シリーズ
被爆80周年 〈ヒロシマとモーツァルト〉

2025.7.24 木 18:45開演 (17:45開場)

JMSアステールプラザ 大ホール

■指揮:クリスティアン・アルミンク ■ピアノ:小菅 優

ペンデレツキ:広島への犠牲者に捧げる哀歌

藤倉大:ピアノ協奏曲第4番「Akiko's Piano」

モーツァルト:交響曲第38番二長調 K.504「ブラハ」

第2回



ピアノ:小菅 優

あなただけのマイシート

「ディスカバリー・シリーズ」は1回券より断然お得な会員がお勧めです。

料金(4公演分)

S席 17,400円

A席 14,400円

B席 12,400円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。TEL 082-532-3080 (4月24日まで受付)